



半田高校

SSH通信



Vol. **5** 2022. 1. 17 愛知県立半田高等学校 SSH 部



参加生徒の声
～科学の甲子園～

(2年生徒)

科学の甲子園を終えてまず感じたのは、自分の知識がいかに狭かったかということです。

とくに地学では聞いた記憶すらないレベルの知識が問われ、全く対応することが出来ませんでした。一方で、6人で立ち向かう筆記試験という、今まで経験したことのないスタイルの勝負は楽しかったです。分からない問題を人に聞いたり、逆に後輩のサポートに回ったりと、「紙の上で行える団体戦」は非常に新鮮でした。

来年は三年生になってしまうので出場はできませんが、このスタイルの筆記試験はここでしか体験できないので、ぜひお勧めしたいな、と思いました。



(1年生徒)

実技試験ではまだ化学を学習していないこともあり、問題はあまり分からず戦力にはなりませんでしたが、その代わりに自分に出来ることは何かと考えて実験を正確に素早くできるように頑張りました。

今年は先輩方にたくさん手伝っていただきましたが、来年は私達がメインとして出場するのでより勉強して挑み、少しでも良い結果が得られるようにしたいです。



校内生徒限定

サイエンスコミュニケーション参加申込書

上の線で切り取って担任の先生に提出してください。右のQRコードからも申込み可能です。

〆切：1月20日(金)

()年()組()番 氏名()



愛知県立半田高等学校

1月21日(土)14:00~16:45

令和4年度 第5回サイエンスコミュニケーション

会場 :七中記念館

受付 13:30~

講演 14:00~15:30

交流会 15:45~16:45

(交流会は自由参加)



講師

久野 純治 教授

名古屋大学

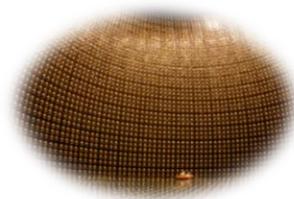
素粒子宇宙起源研究所

謎の粒子、ニュートリノ

ニュートリノは素粒子の1つで、「幽霊粒子」と呼ばれることもある、謎の多い素粒子です。実は我々の周りをたくさん飛び回っていることがわかっています。人体からも出ています。日本のニュートリノ研究はこれまで世界をリードしてきました。そして、2015年東京大学宇宙線研究所の梶田隆章先生はニュートリノ振動という現象を発見したことでノーベル賞を受賞しました。本講演では、ニュートリノがどのように発見されたのか、そして梶田先生の発見したニュートリノ振動とはどのような現象なのか、さらにこのニュートリノ振動の発見が、素粒子や宇宙の成り立ちの理解にどのようなインパクトがあったのかを説明します。



前回のサイエンスコミュニケーションの様子



ニュートリノクイズ

(スーパーカミオカンデ HP より抜粋)

Q1:いままでに見つかったニュートリノは何種類でしょうか



- 【1】2つ 【2】3つ 【3】4つ

Q2:ニュートリノはとても軽い粒子です。では、ニュートリノの親戚の「電子」と比べると、どのくらいの重さと考えられているのでしょうか？

- 【1】電子の 1 兆分の 1 より軽い
【2】電子の 1 億分の 1 より軽い
【3】電子の 100 万分の 1 より軽い



⇒答えは下記 URL よりチェック！

<https://www-sk.icrr.u-tokyo.ac.jp/sk/neutrino/quiz/beginner.html>

